

令和8（2026）年度信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援）実施要領

この要領は、生活困窮者自立支援法（平成25年法律第105号）に基づく「生活困窮者就労準備支援事業」を行う信州パーソナル・サポート（就労準備支援）事業を実施するにあたって必要な事項を定める。

1 事業名 信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援）

2 事業内容

(1) 本事業の実施地域は長野県全域とし、以下の5つの地域に分けて実施する。

- ①東北部（南佐久郡、北佐久郡、佐久市、小県郡、埴科郡、上高井郡、上水内郡、長野市、千曲市、下高井郡、下水内郡）
- ②諏訪（諏訪郡）
- ③中部（木曽郡、東筑摩郡、塩尻市、安曇野市、北安曇郡）
- ④上伊那（上伊那郡、伊那市）
- ⑤下伊那（下伊那郡、飯田市）

(2) 本事業は、事業の趣旨を理解し、地域ごとに事業を適切に実施することを期待できる法人各1者に事業を委託して行うこととする。

(3) 本事業の基本的な内容は、別途定める「令和8（2026）年度信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援）業務委託仕様書」とおりとし、詳細については委託契約締結後に受託事業者と協議し、決定する。

3 実施期間

令和8年（2026年）4月1日から令和9年（2027年）3月31日までとする。

4 委託先の決定

(1) 公募型プロポーザル方式により5地域ごとに事業者を決定する。

【プロポーザル方式】とする理由

- ①就労前段階の訓練のノウハウや地域の社会資源等に精通する事業者を広く求めるため。
- ②効果的かつ効率的な事業の実施方法等について、具体的な提案を求めるため。
- ③客観的な評価基準をもとに、公正な審査を行い、選定プロセスの透明性を確保するため。

【公募型】とする理由

プロポーザル方式の成果を十分に得るために、公募により専門的ノウハウを有する者に広く参画の機会を与え、提案を求めるのが適切である。

(2) 公募型プロポーザルの実施

別に信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援）業務受託候補事業者募集のための公告を定め、県のHP等で募集を告知する。

(3) 委託候補者選定審査会の設置

専門的かつ幅広い意見を聞き、プロポーザルについて公正な評価をすることを目的に、「信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援）業務委託候補者選定審査会」を設置し、提出書類及びプレゼンテーションによる事業提案の評価並びに事業委託候補者の選定を行う。

審査委員会の構成及び審査方法は別に「信州パーソナル・サポート事業（就労準備支援）業務委託候補者選定審査会設置要領」に定める。